

2017年6月20日

---

課題名：

ロンサーフ（TFTD）使用症例の後ろ向き観察（コホート）研究

---

◆研究の目的と概要◆

本研究は、大腸癌に対する抗がん剤治療について、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。九州大学病院の沖医師および静岡がんセンターの山崎医師が主体となって実施しており、全国 268 施設が参加を予定しています。

※主体のホームページ <http://www.jfmc.or.jp>

◆対象となる患者さん◆

2014年7月から、2016年12月までの間に、大腸癌の診断でロンサーフ（TFTD）の投与を開始された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、身長・体重、これまでの治療経過、各種検査（画像、血液、病理）の結果

◆研究方法◆

上記情報を専用の調査票に記入し、患者さんが特定できないよう匿名化した上で、主幹研究機関である公益財団法人がん集学的治療研究財団へ送付し、データの処理や解析が行われます。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の承認を得て行っています。
  - \* この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

外科 研究責任者 横田 満

E-mail: [kenkyu★kchnet.or.jp](mailto:kenkyu★kchnet.or.jp)（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法  
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明